

大垣市奥の細道むすびの地記念館
学 芸 事 業 報 告 書

平成 29 年度

大垣市教育委員会

目 次

1	展示活動	1
(1)	常設展示	1
(2)	企画展示	2
①	第 19 回企画展 真筆でたどる芭蕉の生涯① ～深川隠棲期から『野ざらし紀行』の旅へ～	2
②	第 20 回企画展 博士のまち・大垣③ 世界初の地震学教授で理学博士関谷清景	4
③	第 21 回企画展 芭蕉涅槃図の世界 ～旅に病で夢は枯野をかけ廻る～	6
2	教育・普及活動	8
(1)	一般向けの活動	8
①	企画展関連講座	8
②	連続講座（芭蕉大学・先賢大学）	8
③	総合監修者講演会	9
④	ギャラリートーク	9
(2)	子ども向け活動・学校との連携活動	10
(3)	博物館実習	12
(4)	講師派遣	13
(5)	その他	15
3	資料の収集活動	16
(1)	寄附資料	17
(2)	購入資料	18
(3)	預託資料	19
(4)	資料補修	19

1 展示活動

(1) 常設展示

江戸時代の大垣は、城下町・宿場町・港町という3つの要素をそなえており、東西交通の要所、また、東西文化の結節点として、経済・文化が大きく発展した地であった。経済力・文化力の高さは、俳人松尾芭蕉が『奥の細道』の旅を大垣で終えたことや、江戸時代以降に大垣からさまざまな分野の先賢が輩出したこととも深いつながりがある。

常設展示では、大垣の経済や文化と関わりが深い松尾芭蕉の『奥の細道』と、大垣ゆかりの偉人である先賢について紹介している。

① 芭蕉館

芭蕉館では、松尾芭蕉の『奥の細道』について、ゆかりの資料や映像を交えながら紹介している。「月日は百代の過客にして」で始まる発端の場面から、旅のむすびの地大垣までの場면을、日光路・奥州路・出羽路・北陸路の4つの旅路に分けて紹介し、『奥の細道』全体を深く味わえる展示になっている。

館内の各所には、『奥の細道』の代表的な場면을再現したジオラマを設置しているほか、『奥の細道』の和装本や旅衣装など手で触れるレプリカも展示している。

また、芭蕉の人柄についてもパネルで紹介し、“俳人芭蕉”だけでなく、“人間芭蕉”の魅力にも触れることができる。

② 先賢館

先賢館では、江戸時代後期から幕末・維新期にかけて活躍した大垣ゆかりの先賢5人を紹介している。蘭方医の江馬蘭斎、植物学者の飯沼慾斎、女流漢詩人の江馬細香、漢詩人の梁川星巖、大垣藩重臣で文人の小原鉄心について、ゆかりの資料と映像を通じて、その生涯と偉業を紹介する。

また、先賢各人の交遊関係についても紹介している。大垣の先賢が日本史上の著名な人物たちと幅広いつながりがあったことを示す。

(2) 企画展示

松尾芭蕉・『奥の細道』と大垣の先賢を紹介する企画展を、春・夏・秋の年 3 回開催している。春・秋は松尾芭蕉や『奥の細道』関連の企画展、夏は大垣の先賢関連の企画展を開催している。

① 第 19 回企画展 真筆でたどる芭蕉の生涯①

～深川隠棲期から『野ざらし紀行』の旅へ～

1) 内 容

旅の詩人、芭蕉。しかし、彼が最初の旅に出たのは『野ざらし紀行』の旅、貞享元年（1684）41 歳の時であった。

本企画展では、「旅の詩人」となるまでの人生を芭蕉自身及び門人の真筆を紹介しながらたどった。

具体的には、江戸の中心地で点者として活躍する中で作風を模索する芭蕉の姿や、『野ざらし紀行』の旅で「蕉風」にたどりつく姿を取り上げた。また、日本美術の粋ともいえる短冊の模様なども紹介した。

2) 会 期 平成 29 年 3 月 25 日（土）～5 月 14 日（日）

3) 会 場 1 階企画展示室

4) 主 催 大垣市・大垣市教育委員会

5) 入 館 者 数 8,541 人

6) 出 品 点 数 30 点（パネル展示は除く）

7) 主な展示資料

- ・芭蕉点「有難や」点巻断簡（個人蔵）
- ・芭蕉筆「三日月や」発句短冊（伊賀市蔵）
- ・芭蕉筆「牡丹菫分て」等二句懐紙（個人蔵）
- ・芭蕉筆「辛崎の」発句短冊（個人蔵）
- ・嵐雪筆「今少」発句短冊（個人蔵）
- ・千那筆「名月の」発句短冊（個人蔵）
- ・「桃青門弟二十歌仙」（東京大学総合図書館蔵） ほか

8) 関 連 事 業 企画展関連講座（8 頁に掲載）

ギャラリートーク（9 頁に掲載）

9) 印 刷 物 ポスター・チラシ・図録（カラー32 頁）

チラシ (表)

チラシ (裏)

② 第20回企画展 博士のまち・大垣③

世界初の地震学教授で理学博士関谷清景

1) 内 容

幕末に日本に駐在したイギリスの外交官ミットフォード（1837～1916）が、「我々を襲ったのは人間ではなく、地震だった」と書き残しているように、地震は日本を特徴づける自然現象である。

世界初の地震に関する学会が設立されたのは日本であり、世界初の地震学教授として現代に通じる地震学の基礎を築いたのが大垣出身の関谷清景である。

本企画展では、地震予知と震災予防の調査・研究に一生を捧げた関谷清景の生涯について、ゆかりの人物たちとの交流や資料を交えながら紹介した。

2) 会 期 平成29年7月15日（土）～8月27日（日）

3) 会 場 1階企画展示室

4) 主 催 大垣市・大垣市教育委員会

5) 入 館 者 数 6,463人

6) 出 品 点 数 18点（パネル展示は除く）

7) 主な展示資料

- ・地震動軌跡模型（東京大学大学院理学系研究科蔵）
- ・「地震動ノ性質ヲ示ス雛形ノ説明」草稿（東京大学地震研究所蔵）
- ・「明治二十二年熊本県震災報告」（東京大学地震研究所蔵）
- ・「地震学ニ関シ震災予防調査会ニ於テ従事スベキ研究ノ概要」草稿（東京大学地震研究所蔵）
- ・明治9年12月25日付江馬活堂宛関谷清景書簡（岐阜県歴史資料館蔵）
- ・明治26年7月27日付武井伊右衛門宛関谷清景書簡（一般財団法人武井報効会百耕資料館蔵）

ほか

8) 関 連 事 業 企画展関連講座（8頁に掲載）

ギャラリートーク（9頁に掲載）

9) 印 刷 物 ポスター・チラシ・図録（カラー32頁）

チラシ (表)

チラシ (裏)

③ 第 21 回企画展 芭蕉涅槃図の世界

～旅に病で夢は枯野をかけ廻る～

1) 内 容

旅を通じて新たな俳風を打ち立てた芭蕉は、「旅に病で夢は枯野をかけ廻る」の句を残し、元禄 7 年（1694）10 月 12 日、大坂滞在中に 51 歳でその生涯を閉じる。

生前から多くの人々に慕われ、後世にも大きな影響を与えた芭蕉は、没後、追慕の念から、各地においてさまざまな形で供養、顕彰され、次第に神仏になぞらえて敬われる存在となっていく。そうした芭蕉に対する敬慕の表現形態の一つが、芭蕉臨終の情景を釈迦入滅の情景に見立てた「芭蕉涅槃図」である。

本企画展では、芭蕉を敬慕する人々の意識と供養・顕彰の展開について、「芭蕉涅槃図」と関連資料を交えながら紹介した。

2) 会 期 平成 29 年 10 月 7 日（土）～11 月 19 日（日）

3) 会 場 1 階企画展示室

4) 主 催 大垣市・大垣市教育委員会

5) 入 館 者 数 4,513 人

6) 出 品 点 数 25 点（パネル展示は除く）

7) 主な展示資料

- ・伝与謝蕪村筆「芭蕉涅槃図」（公益財団法人芭蕉翁顕彰会蔵）
- ・鈴木芙蓉筆「芭蕉涅槃図」（早稲田大学會津八一記念博物館蔵）
- ・建部巢兆筆「芭蕉涅槃図」（個人蔵）
- ・石川貫河筆「芭蕉涅槃図」（個人蔵）
- ・上田公長筆「芭蕉涅槃図」（個人蔵）
- ・上田公長筆「芭蕉涅槃図」（大阪市立美術館蔵）
- ・森高雅筆「芭蕉涅槃図」（個人蔵）
- ・文石筆「芭蕉涅槃図」（敦賀市立博物館蔵）
- ・元禄 7 年 10 月付松尾半左衛門宛芭蕉書簡
（公益財団法人芭蕉翁顕彰会蔵）

ほか

8) 関 連 事 業 企画展関連講座（8 頁に掲載）

ギャラリートーク（9 頁に掲載）

9) 印 刷 物 ポスター・チラシ・図録（カラー32 頁）

奥の細道むすびの地記念館 第21回企画展

芭蕉涅槃図の世界

～旅に病で夢は枯野をかけ廻る～

土田公博「芭蕉涅槃図」(本人蔵)

平成29年 **10/7**土～**11/19**日
開催時間 9:00～17:00

ところ 大垣市奥の細道むすびの地記念館
1階 企画展示室

大垣市奥の細道むすびの地記念館
〒503-0823 岐阜県大垣市稲町2丁目26番地1 TEL 0584-84-8430

主催 大垣市・大垣市教育委員会
問い合わせ先 文化振興課 〒503-0888 岐阜県大垣市丸の内2丁目55番地
TEL 0584-47-8067(直通) FAX 0584-81-0715 <http://www.city.ogaki.lg.jp/>

企画展関連講座
(記念館 多目的室1)

〈讀える絵画〉の読解術
～芭蕉涅槃図の世界展にちなんで～
10/22(日) 14:00～15:30
講師 道田 美貴氏
(三重県立美術館学芸員)

受講料無料 定員80名
事前申し込み要 要予約(1名)

ギャラリートーク
(学芸員による企画展示解説)
(企画展示室)
10/8(日)・10/29(日)
11/12(日)・11/19(日)
いずれも15:00～ 30分程度
事前申し込み不要 参加費無料
(定員20人 入場料は別途)

施設案内

利用時間	常設館	企画展	観覧券
料 金	一般300円 団体150円 (10歳未満は無料)		無料
観覧時間	午前9時～午後5時 午後9時～午後9時		
休 閑 日	観覧できません。休館日は別途発表。		

みんなが覚えてる 人懐きの絵
～奥の細道むすびの地記念館～

チラシ (表)

石川所蔵「芭蕉涅槃図」(本人蔵)

旅を途中で断たれた旅人を打ち立てた芭蕉は、旅に病で夢は枯野をかけ廻るという句を残し、元禄7年(六九十月十一日)大坂浦中にて五十九歳でその生涯を閉じます。生前から多くの人に愛され、後世にも大きな影響を与えた芭蕉は、没後、道徳の念から各地においてさまざまな形で供養・顕彰され、次第に神格化にならえて敬われる存在となっていきます。そうした芭蕉に対する敬慕の表現のつが、芭蕉の精神の情景を執筆者の情眼で見立てた「芭蕉涅槃図」です。

第二十一回企画展では、芭蕉を敬慕する人々の霊魂と供養・顕彰の展開について、芭蕉涅槃図と関連資料を交えながら紹介します。

展示品

- ・石川所蔵「芭蕉涅槃図」(本人蔵)
- ・鈴木本所蔵「芭蕉涅槃図」(早稲田大学蔵)／(一社)滋賀県蔵
- ・津波家所蔵「芭蕉涅槃図」(本人蔵)
- ・石川所蔵「芭蕉涅槃図」(本人蔵)
- ・土田公博所蔵「芭蕉涅槃図」(本人蔵)
- ・土田公博所蔵「芭蕉涅槃図」(大垣市立美術館蔵)
- ・森田所蔵「芭蕉涅槃図」(本人蔵)
- ・文庫所蔵「芭蕉涅槃図」(徳島市立博物館蔵)
- ・元禄7年(1696)所蔵「芭蕉涅槃図」(滋賀県立美術館蔵)

企画展関連講座

日 程	10月22日(日)	14:00～15:30
テ ー マ	〈讀える絵画〉の読解術 ～芭蕉涅槃図の世界展にちなんで～	
講 師	道田 美貴氏 (三重県立美術館学芸員)	
場 所	奥の細道むすびの地記念館 多目的室1	
定 員	80名	
受 講 料	無料	

申込み方法
問い合わせ先

申込用紙に必要事項を記入して、文化振興課へ郵送・持参・FAXまたは奥の細道むすびの地記念館ホームページ/<http://www.basho-ogaki.jp/>より
〒503-0888 岐阜県大垣市丸の内2丁目55番地 大垣市教育委員会 文化振興課
TEL 0584-47-8067(直通) FAX 0584-81-0715

※詳細は奥の細道むすびの地記念館ホームページ等でお知らせします。

奥の細道むすびの地記念館 企画展関連講座
〈讀える絵画〉の読解術 ～芭蕉涅槃図の世界展にちなんで～
参加申込用紙

名 前

住 所

電話・FAX番号

電話

FAX

※申込書の個人情報は、適切に管理し、事業以外目的には一切使用しません。

チラシ (裏)

2 教育・普及活動

(1) 一般向けの活動

① 企画展関連講座

月 日	内 容	講 師	参加者
平成 29 年 4 月 30 日(日)	第 19 回企画展関連講座 《やつし》の文化と芭蕉	立教大学名誉教授 加藤 定彦	76 人
8 月 20 日(日)	第 20 回企画展関連講座 地震学 140 年の歴史と防災 —先駆者関谷清景の足跡を訪ねて—	名古屋大学減災連携 研究センター教授 武村 雅之	75 人
10 月 22 日(日)	第 21 回企画展関連講座 〈讀える絵画〉の読解術 —芭蕉涅槃図の世界展にちなんで—	三重県立美術館 学芸員 道田 美貴	台風の た め 中 止

② 連続講座

1) 芭蕉大学

月 日	内 容	講 師	参加者
平成 29 年 6 月 11 日(日)	「かたみ」の文学 —芭蕉の詩想と『奥の細道』—	京都大学大学院助教 河村 瑛子	85 人
7 月 9 日(日)	芭蕉の色彩感覚	名古屋ボストン 美術館館長 馬場 駿吉	79 人
8 月 6 日(日)	『奥細道管菰抄』とその板木	立命館大学准教授 金子 貴昭	71 人
9 月 10 日(日)	連歌と芭蕉の連句	いわき明星大学 准教授 松本 麻子	72 人

2) 先賢大学

月 日	内 容	講 師	参加者
平成 29 年 12 月 3 日(日)	梁川星巖とその詩風 —『三体詩』を中心に—	明治大学准教授 小財 陽平	71 人
平成 30 年 1 月 28 日(日)	『ウィーンに六段の調（ブラームスと戸田伯爵極子夫人）』をめぐって	愛知学院大学准教授 井上 瞳	80 人
2 月 11 日(日)	江馬細香の墨竹 —豊潤なる〈詩画一致〉の世界—	早稲田大学 非常勤講師 黒川 桃子	66 人

③ 総合監修者講演会

月 日	内 容	講 師	参加者
平成 29 年 11 月 11 日(土)	—	和洋女子大学教授 佐藤 勝明	都合に よ り 中 止

④ ギャラリートーク

月 日	内 容	講 師	参加者
平成 29 年 3 月 26 日(日)	第 19 回企画展ギャラリートーク	担当学芸員	6 人
4 月 2 日(日)			17 人
4 月 16 日(日)			5 人
5 月 7 日(日)			5 人
5 月 14 日(日)			15 人
7 月 16 日(日)	第 20 回企画展ギャラリートーク	担当学芸員	10 人
7 月 30 日(日)			10 人
8 月 13 日(日)			4 人
8 月 27 日(日)			10 人
10 月 8 日(日)	第 21 回企画展ギャラリートーク	担当学芸員	7 人
10 月 29 日(日)			23 人
11 月 12 日(日)			20 人
11 月 19 日(日)			23 人

(2) 子ども向け活動・学校との連携活動

① 大垣市内小学校 6 年生見学事業

市内小学校全 22 校、1,578 人（引率職員を含む）を受け入れた。

平成29年度 大垣市内小学6年生奥の細道むすびの地記念館見学日程

学校名 (大垣市内22校対象)		参加人数（人）				日程		
		児童	引率 職員	計	クラス	月日	曜	見学時間
1	西 小学校	87	3	90	3	5月19日	金	9：20～11：40
2	時 小学校	4	1	5	1	5月25日	木	12：30～15：15
3	日新 小学校	34	2	36	1	6月5日	月	9：20～11：40
4	綾里 小学校	26	2	28	1	6月6日	火	12：00～15：45
5	興文 小学校	110	4	114	3	6月13日	火	9：00～12：00
6	墨俣 小学校	52	3	55	2	6月14日	水	9：00～12：30
7	東 小学校	96	4	100	3	6月22日	木	9：30～12：30
8	一之瀬 小学校	5	1	6	1	6月23日	金	13：30～15：30
9	宇留生 小学校	101	4	105	3	6月27日	火	9：10～11：50
10	青墓 小学校	84	4	88	3	6月29日	木	13：20～15：35
11	中川 小学校	152	6	158	4	7月6日	木	9：20～12：30
12	安井 小学校	141	6	147	4	7月11日	火	13：20～15：35
13	静里 小学校	62	4	66	2	7月13日	木	9：30～11：35
14	赤坂 小学校	85	4	89	3	7月18日	火	9：20～11：40
15	南 小学校	51	5	56	2	9月27日	水	9：20～11：40
16	荒崎 小学校	43	4	47	2	9月28日	木	9：30～13：00
17	川並 小学校	29	3	32	1	10月20日	金	9：20～11：30
18	北 小学校	103	4	107	3	10月25日	水	9：30～12：30
19	牧田 小学校	20	1	21	1	10月26日	木	9：30～13：00
20	小野 小学校	108	4	112	3	11月17日	金	9：00～11：40
21	多良 小学校	14	2	16	1	11月22日	水	9：30～11：40
22	江東 小学校	96	4	100	3	11月29日	水	9：30～11：40
合計		1,503	75	1,578	—			

1) 目 的

芭蕉や俳句に対する興味関心を高めるとともに、郷土や先賢の偉業に対する理解を深め、ふるさとを愛する態度を養う。

2) 学習内容

- ・ AV シアターの映像視聴で松尾芭蕉と奥の細道紀行について学ぶ。
- ・ 芭蕉館・先賢館において、担当者による展示解説などを通して松尾芭蕉や大垣の先賢等について学ぶ。
- ・ 船町川湊を散策し、名勝「奥の細道の風景地」の景観に触れ、俳句の種を見つける（十六万市民投句に投句する）。

見学例（5月19日 西小学校）

時間	A	B	C
9:30～ 10:10	先賢館・無何有荘 AV シアター	川湊散策 俳句作り	AV シアター 芭蕉館
10:10～ 10:50	芭蕉館	先賢館・無何有荘 AV シアター	川湊散策 俳句作り
10:50～ 11:30	川湊散策 俳句作り	芭蕉館	先賢館・無何有荘

② よろづ芭蕉相談室

夏休みの自由研究や調べ学習のため、松尾芭蕉や『奥の細道』、大垣の先賢などに関心を持つ子どもたちに向けて、相談会を開催した。

月 日	参加者
7月25日(水)	2人（小学校6年生：1／中学校2年生：1）
7月27日(木)	1人（中学校1年生：1）
7月29日(土)	2人（小学校4年生：1／小学校6年生：1）
8月1日(火)	3人（小学校4年生：1／小学校6年生：1／中学校1年生：1）
8月12日(土)	2人（小学校4年生：1／小学校6年生：1）

(3) 博物館実習

5 大学、6 人を受け入れた。

① 実習概要

日 時	平成 29 年 7 月 21 日（金）～27 日（木） 8:45～16:40
場 所	7 月 21 日（金） 奥の細道むすびの地記念館 22 日（土） 大垣市守屋多々志美術館 23 日（日） 金生山化石館・昼飯大塚古墳・歴史民俗資料館 スイトピアセンター（3 階収蔵庫・4 階会議室 5） 24 日（月） スイトピアセンター（3 階展示室 3C） 26 日（水） 奥の細道むすびの地記念館 27 日（木） 大垣市立図書館・北庁舎南館
実習生	愛知大学 地域政策学部 地域政策学科 1 名 愛知学院大学 文学部 歴史学科 1 名 名古屋芸術大学 美術学部 美術学科 1 名 名古屋芸術大学 デザイン学部 デザイン学科 1 名 愛知県立大学 日本文化学部 歴史文化学科 1 名 帝京科学大学 生命環境学部 アニマルサイエンス学科 1 名

② 実習内容

実習日	実習内容
7月21日	担当：山崎和真 学芸員、上嶋康裕 学芸員 1) 講話「学芸員の仕事と、歴史資料の整理について」 ・国立博物館等の学芸員と自治体の学芸員との違い ・歴史資料を扱う際のルールや注意すること ・古文書の整理・保存に向けた学芸員の基本姿勢や心構え 2) 実習「地域に残る古文書の現状記録作業」 2グループ（3人ずつ）に分かれて、以下の実習を行った。2グループ合計40点の古文書について現状記録調査を行った。 ・赤坂宿本陣関係文書の現状記録調査カードへの記入 ・写真及びスケッチによる記録 ・中性紙封筒への保存の仕方 ・古文書の読み取り実習（くずし字用例辞典の活用） ・古文書の開き方やたたみ方
7月26日	担当：高井悠子 学芸員、山崎和真 学芸員、上嶋康裕 学芸員 1) 実習「企画展等展示及びギャラリートーク実習」 ・山崎学芸員による企画展ギャラリートークをもとにした実習 ・小学生を対象とした作品解説実習 ・むすびの地記念館内外・収蔵庫について 2) 実習「国文研調査カードの使い方」 ・版本調査作業

(4) 講師派遣

月 日	講座・講演会名	内 容
平成 29 年 5 月 9 日(火)	上石津文化財保護協会講演会	高木家文書からみる江戸時代の上石津地域 —山とともに生きた人々の営みに注目して—
5 月 10 日(水)	JEUGIA カルチャーご当地講座	新発見！！古地図で歩く美濃路の宿場町大垣
6 月 21 日(火)	大垣市かがやき出前講座	芭蕉とこんにやく —旅に生きた俳人の健康余話—
7 月 12 日(水)	平成 29 年度大阪府立東淀川 高等学校エリア特別講義	私たちは何を美しいと思うのか —百人一首から松尾芭蕉まで—
7 月 25 日(火)	ふるさと大垣案内の会定例 勉強会	梁川紅蘭と『星巖先生遺稿』の刊行 —書簡からみえる編集過程を中心に—
9 月 19 日(火)	ふるさと大垣案内の会定例 勉強会	小原鉄心の人脈 —木戸孝允との関係を中心に—
10 月 1 日(日)	梁川星巖顕彰会星巖祭 (160 回忌) 記念講演	梁川紅蘭の個性 —『星巖先生遺稿』の編集過程に注目して—
11 月 1 日(水)	大垣市かがやき出前講座	中世の「東海道」と青墓
11 月 1 日(水)	平成 29 年度大阪府立茨木高等学校課題研究「文学を読む・和綴本」	くずし字解読実習 『近世畸人伝』①
11 月 20 日(月)	平成 29 年度大阪府立茨木高等学校課題研究「文学を読む・和綴本」	くずし字解読実習 『近世畸人伝』②
11 月 28 日(火)	ふるさと大垣案内の会定例 勉強会	世界初の地震学教授関谷清景 —その生涯と人柄—
12 月 1 日(土)	中部「歴史地震」研究懇談会	世界初の地震学教授関谷清景 —その生涯と人柄—
12 月 2 日(土)	龍谷大学市民講座 2017 年度後期 REC コミュニティ カレッジ「近江の古典文学—百人一首から松尾芭蕉まで—」	百人一首における近江歌枕の地

月 日	講座・講演会名	内 容
12 月 9 日(土)	龍谷大学市民講座 2017 年度後期 REC コミュニティ カレッジ「近江の古典文学―百人一首から松尾芭蕉まで―」	百人一首、競技かるたの体験 (現地見学)
12 月 16 日(土)	大垣市かがやき出前講座	関ヶ原合戦と島津隊
平成 30 年 1 月 20 日(土)	龍谷大学市民講座 2017 年度後期 REC コミュニティ カレッジ「近江の古典文学―百人一首から松尾芭蕉まで―」	松尾芭蕉と近江
1 月 27 日(土)	龍谷大学市民講座 2017 年度後期 REC コミュニティ カレッジ「近江の古典文学―百人一首から松尾芭蕉まで―」	近江芭蕉のゆかりの地 (現地見学)

(5) その他

① 『奥の細道』に関する解説本の発行

奥の細道むすびの地記念館総合監修者と和洋女子大学教授の佐藤勝明氏に執筆を依頼し、『奥の細道』に関する解説本を発行した。

『奥の細道』を50の章段に分けて原文を紹介し、佐藤氏による解説を加えた。豊富にカラー図版を使用し、読者が、『奥の細道』の世界を本格的に、かつ親しみ深く味わえるものとした。

書 名	
全文を読み切る『奥の細道』の豊かな世界	
著 者	
佐藤 勝明（和洋女子大学人文学群日本文学文化学類 日本文学専修 教授）	
編集・発行	発行年月
大垣市・大垣市教育委員会	平成30年3月

② 原稿執筆

題 目	書 名	発行元	発行年月
芭蕉と大垣	岐阜文化フォーラム編 『天下布学』	岐阜新聞	平成30年1月

3 資料の収集活動

奥の細道むすびの地記念館は大垣の歴史と文化を世界発信するため、次の3分野に関連する資料を積極的に収集し、それらを保管、公開（情報発信）及び専門研究を行うことを基本的な柱とする。

I 芭蕉館に関連する資料の収集について

- i 松尾芭蕉、『奥の細道』、大垣蕉門、岐阜蕉門、全国の元禄期俳人、美濃派道統、近世俳諧史に関連する人物の資料と関連情報を調査・収集し、それらの保管、公開（情報発信）及び専門研究を行う。
- ii 「i」に関連する資料であれば、必要に応じて比較資料や参考資料も収集対象とする。
- iii 貸出用、普及行事用、展示用資料として写本、拓本、写真、刊行物、複製品等の二次資料も収集対象とする。
- iv 特に松尾芭蕉、『奥の細道』、大垣蕉門、岐阜蕉門に関連する資料は網羅的に収集する。

II 先賢館に関連する資料の収集について

- i 江馬蘭斎・飯沼慾斎・江馬細香・梁川星巖・小原鉄心の五先賢に関連する資料及び五先賢に関連する重要人物の資料と関連情報を調査・収集し、それらの保管、公開（情報発信）及び専門研究を行う。
- ii 「i」に関連する資料であれば、必要に応じて比較資料や参考資料も収集対象とする。
- iii 貸出用、普及行事用、展示用資料として写本、拓本、写真、刊行物、複製品等の二次資料も収集対象とする。

III 大垣の歴史と文化を研究するための資料の収集について

- i 大垣の歴史や文化を知る上で、重要と思われる中世から戦前期までの出来事や人物の資料と関連情報を調査・収集し、それらの保管、公開（情報発信）及び専門研究を行う。
- ii 大垣の歴史や文化を知る上で、良好な状態で保管が必要と思われる資料や国・県・市指定の重要文化財等も収集対象とする。

収蔵資料点数

	館蔵資料	預託資料	合 計
点 数	1,579 点	148 点	1,727 点

平成 29 年度の新規収蔵資料及び資料補修は、以下のとおりである。

(1) 寄附資料

資 料 名	数 量	時 代
『おくのほそ道』（寛政版）	1 冊	江戸中期
大野是什坊筆「里へ出て」画賛等貼交屏風	1 隻	江戸中期～後期
「夜半翁俳僊帖」・「時代俳画奇人壇上・中・下模画」屏風	1 隻	近代
二見形文台（五竹坊裏書）	1 台	江戸中期
五条式板額（五竹坊裏書）	1 枚	江戸中期
二見形文台（巒化裏書）	1 台	江戸後期
梁川紅蘭筆七言絶句「厚意多君憐我老」	1 枚	幕末～明治
南条文雄筆七言絶句「水上風光入夜多」短冊	1 枚	明治
岡本黄石筆七言絶句「唯座穩聞春流声」短冊	1 枚	幕末～明治
小原鉄心筆五言詩「職劇俸給薄」・七言絶句「寿啓達天仙可参」屏風	1 隻	明治
江馬細香筆墨竹図	1 幅	幕末
菱田海鷗筆七言絶句「苦学欲酬君父思」	1 幅	明治
梁川紅蘭筆七言絶句「満椀流華灑肺肝」	1 幅	明治
『笈の小文』	1 冊	江戸中期
『続猿蓑』	1 冊	江戸中期
関谷清景関係資料	5 点	江戸後期～明治
梁川星巖七言律詩屏風	1 隻	幕末
『世々の花』	1 冊	江戸後期
『追善入類月集』	1 冊	江戸後期
『白馬会筵席』	1 冊	江戸後期
東為坊俳諧巻物	1 巻	江戸中期～後期
梅村宛大谷文寿坊書簡	1 枚	江戸後期～明治
大野夢外仙筆「鶯の」句一行物	1 幅	江戸後期～明治
岡崎風盧坊筆「試筆・人日・春興」句幅	1 幅	江戸中期～後期
野村白寿坊筆「仮御所は」句一行物	1 幅	江戸中期
芭蕉翁涅槃之図	1 幅	明治
『あら野』	2 冊	江戸中期
『俳諧通俗志』	1 冊	江戸中期
『毛吹草』	1 冊	江戸

(2) 購入資料

資 料 名	数 量	時 代
『日本博士全伝』	1 冊	明治
『旧東京大学三幅対』	1 冊	明治
『兵庫県御影師範学校創立五十周年記念誌』	1 冊	昭和
『開国五十年史』	3 冊	明治
『矢橋南圃翁伝』	1 冊	昭和
『講学余談』	1 冊	明治
『震災予防調査会報告（大日本地震史料）』	2 冊	明治
『杉浦重剛先生』	1 冊	大正
『東洋学芸雑誌』 第 50・82・83・85・86・119・123・130・197 号	9 冊	明治
『蘭方枢機』	1 冊	江戸後期
『救荒事宜』	1 冊	幕末
『俳諧嵐山集』	1 冊	幕末
『花供養会』	1 冊	江戸後期
『墨なおし集』	1 冊	江戸後期
明治 23 年 4 月 5 日付野村藤陰宛戸田葆堂書簡	1 枚	明治
『続雪まろげ』	2 冊	江戸後期
『穂屋集』	1 冊	江戸後期
『しぐれ集』	1 冊	明治
『芥子の露』	1 冊	明治
谷木因筆「供烏帽子」等二句懷紙	1 枚	江戸中期
『芭蕉句選拾遺』	1 冊	江戸中期
『はせをつか』	1 冊	幕末
『麦林集』	3 冊	江戸中期
『時雨の古こと』	1 冊	江戸後期
「俳諧十六歌仙」	13 枚	江戸後期
「奥州宮城郡市川村多賀城址壺碑図」	1 枚	江戸中期
『花供養』	1 冊	江戸後期
『芭蕉翁付合集』	2 冊	江戸後期
『茶のさうし』	1 冊	江戸中期
『入日記』	1 冊	江戸中期
『八僊観すみなをし』	1 冊	江戸中期
『梧一葉』	1 冊	江戸後期
『八九間雨柳』	1 冊	江戸後期
『月の会』	1 冊	江戸後期
『俳諧 苔の花』	1 冊	江戸後期

資 料 名	数 量	時 代
『梅林茶談』	1 冊	江戸後期
『蕉翁独吟五歌仙考』	1 冊	江戸後期
可伸庵図	1 枚	明治
『市の庵』	1 冊	江戸中期
『鰺鯛断方 やきおほ根』	1 冊	江戸中期～後期
『雪門七部 むさし野三歌仙』	1 冊	江戸後期
『青田のさそひ』	2 冊	江戸後期

(3) 預託資料

資 料 名	数 量	時 代
元禄 5 年 2 月 16 日付曲翠宛芭蕉書簡	1 卷	江戸中期

(4) 資料補修

資 料 名	数 量	時 代
—	—	—

大垣市奥の細道むすびの地記念館 学芸事業報告書 平成 29 年度

発 行 日 平成 30 年 3 月 31 日

編集・発行 大垣市教育委員会

〒503-0888

岐阜県大垣市丸の内 2 丁目 55

TEL:0584-47-8067 (文化振興課 直通) FAX:0584-81-0715